

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-543118(P2002-543118A)

【公表日】平成14年12月17日(2002.12.17)

【出願番号】特願2000-614987(P2000-614987)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/155	(2006.01)
A 6 1 K	31/4439	(2006.01)
A 6 1 K	31/522	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 07 D	417/12	(2006.01)
C 07 D	473/06	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/155	
A 6 1 K	31/4439	
A 6 1 K	31/522	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 07 D	417/12	
C 07 D	473/06	

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月27日(2007.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩を含む、生物体における糖化最終生成物の形成またはタンパク質架橋を阻害する医薬組成物であって、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記医薬組成物。

【請求項2】 有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩を含む、生物体における老化の心身に有害な作用を遅延させる医薬組成物であって、前記作用が糖化最

終生成物またはタンパク質架橋の形成であり、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記医薬組成物。

【請求項3】 有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩を含む、糖尿病から生じる合併症の患者における進行を遅延させる医薬組成物であって、前記合併症が糖化最終生成物の形成またはタンパク質架橋から生じ、そして前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記医薬組成物。

【請求項4】 有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩を含む、慢性関節リウマチ、アルツハイマー病、尿毒症、神経毒性、またはアテローム性動脈硬化症の患者における進行を遅延させる医薬組成物であって、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記医薬組成物。

【請求項5】 糖化最終生成物の形成またはタンパク質架橋を阻害するために有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩を食料と混合することを含む、前記食料中のタンパク質の腐敗(spoilage)を防止する方法であって、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記方法。

【請求項6】 生物体における糖化最終生成物の形成またはタンパク質架橋を阻害するための、有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩の使用であって、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記使用。

【請求項7】 生物体における老化の心身に有害な作用を遅延させるための、有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩の使用であって、前記作用が糖化最終生成物またはタンパク質架橋の形成であり、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記使用。

【請求項8】 糖尿病から生じる合併症の患者における進行を遅延させるための、有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩の使用であって、前記合併症が糖化最終生成物の形成またはタンパク質架橋から生じ、そして前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記使用。

【請求項9】 慢性関節リウマチ、アルツハイマー病、尿毒症、神経毒性、またはアテローム性動脈硬化症の患者における進行を遅延させるための、有効量の化合物または前記化合物の医薬的に許容可能な塩の使用であって、前記化合物がペントキシフィリン、ピオグリタゾンおよびメトフォルミンからなる群から選択される、前記方法。